

磐城時報

福島縣石城郡平町
編輯兼發行人 岡田 弘
印刷所 平町印刷所
印刷部 平町印刷所
發行所 磐城時報社
一部金五圓 一月金十五圓
廣告料行字詰金五十圓
▲日刊 (日曜、祭日休刊)

平町豫算案内容

歳入總額三十三萬五千五百圓 町税平均十六圓六十錢

青沼町長から昨町會に於いて説明された平町九年度豫算案の内容は大体次の如くである。

歳入の部

△歳入總額三十三萬五千五百圓、主なる歳入内容は、財産より生ずるもの千八百八十八圓、使用料並に手数料十萬三千七百二十圓前年に比して一萬一千七百四十圓増加、水道工事費收入七千三百七圓前年度より二千八十一圓減少、交付金四千四百九十四圓、國庫下渡金二萬七千五百一圓、國庫補助金八千三百二十圓前年より三千七百七十圓増加、補助金は一萬二千七百九十九圓前年より三千四百二十八圓の大激減、請負金一圓前年より九千二百七十九圓に比しての大激減は、巨款各種事業の分を始め各部収入とも幾分内輪中止、終了による爲めである。見積り計上されてゐるから伏寄附金二千七百十圓で四千七百三十圓の減額だが同様土木事業による地元の指定寄附減額入欠陥の醜体を曝露するやうな結果、財産賣拂代千八百八十圓の増加に振りがける。

經常部九千圓増加

町長報酬を減じて

吏員給の増加に振り向ける

△歳出經常部
會議費千八百三十二圓、役場費四萬七千三百二十八圓前年より千九百三十四圓の増加であるが此れは名譽助役設置を見越して報酬八百圓が計上さ

六千四百四十一圓、水道事業費一萬二千八百七十四圓、公園費千六百二十一圓、火葬場費八百三十九圓、勸業費四百四十圓、職業紹介所費二千六百二十圓、救助費二百圓、救護費千六百九十五圓等大差な第一回關東北卓球選手権大會は令を見る筈で同月から執務に内平卓球協會に於いて計畫中であつた。

關東北卓球大會開催 三月四日平第三コートに 参加百名を突破か

三月四日午前九時より開催するが、九年度豫算は八年度と大差なきものと豫想される。

白井氏葬儀

三月四日に

愛林デー

行事決定

平町警察署、平警察署、石城林野組合聯合會では來四月二、三、四の三日間全國一齋に施行される愛林デーに際して一般に愛林思想を普及すべく運動宣傳方法等を考究中であつたが該三日間全郡下に亘り愛林ボスター愛林標語パンフレットを配布するのを始め、各地で警林署長、警察署長、組合長、幹事長等が講演植樹祭は同様三日間に亘る筈である。

磐銀監査委員

端山軍二氏就任

破産法違反に問はれた破産磐城銀行監査委員井上茂作辭任に伴ひ平區裁判所監督判事中山十郎氏は今二十七日後任として端山軍次氏を任命した。

明年度の豫算案

平町會に上程する

委員の顔觸れ決定

青沼町長案内容を説明
平町九年度豫算案を決定すべき町會は昨二十六日午後一時から町會議室に於いて、井上議長缺席の爲め野崎副議長が議長席に就き開會を宣す。

信用組合の定款變更認可

諸橋主事は二月一日から執務

信用組合平鹿民金庫が主事一名付で主事常設の定款變更を認可を常置すべく過般の總會に於いて認められた、尙初代主事に就任を受て定款變更を決議その筋に認可した諸橋敬一郎氏は三月一日付諸橋理事長から主事任命の發大浦村昭和九年度豫算案は來

鎌田の小火

原因残火不始末

昨夜二十六日午後九時頃平町字鎌田町雜貨商大樂近松方事務所の炊事場から突如發火騒ぎ間に部屋一杯に燃えひろがりあわや大事に至らんとしたのを家人が發見附近の人々が馳せ付けて消火に努めたので間もなく鎮火した原因はかまどの残火不始末かららしい。

工友會總會

明日甲陽館で

平町左官職の親睦機關左官工友會では明日二十八日午前十一時から、平町前甲陽館に於いて定時總會を開催役員改選その他を協議次いで同日午後五時から新年懇親宴を開く筈。

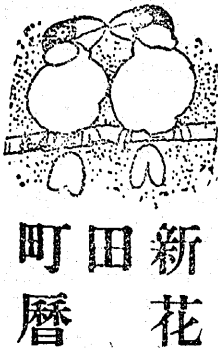
平町在軍數

平町では町内居住の在軍軍人數を調査中であつたが在軍軍籍關係者は

△將校並に相當官、陸軍二十三名海軍二名、△準士官陸軍二名海軍一名△下士官陸軍十八名海軍四名△兵士陸軍八百三十六名海軍二十名である。

大浦豫算案

石城郡



新花 町曆

△マーさんで通る花街の通人目下「帯止めと申す」の因果關係と題する研究論文の作製に晝夜兼行... 近頃放蕩大學の教授會に提出して學位を請求するんだらう... が? △ナンでも好問の○○さんと開花駒吉がその研究材料になつてゐるやうです、放蕩大學では此の論文を卒業試験に出すところ、生徒は駒吉に直接教授を受けられた、

金澤前所長

参考 取調

昨日四倉署で

四倉署事務所金澤書記の官金横領費消事件はその後四倉署で引き続き取調を進めてゐるが昨二十六日前所長金澤技師は任意出頭形式で四倉署に召喚可成長時間に亘り當時の参考取調を受けたが、同氏の行政処分は免れ難いものと豫想されてゐる。

四倉校新入生

四倉小學校昭和九年度新入児童数は二十六日現在百九十五名で、男子百一名、女子九十四名であるが寄留者は六十四名あり男女別は男子三十二名女子三十二名であるが四月一日入學開始迄は二百二十名位に達するものと見られる。

本會議は

五日召集

豫算決算案とも別項の如き委員附託と決定したが二十七、八、三月一の三日間は議案調査で休會二、三兩日委員開會四日休會五日午後一時本會議を召集明年度豫算案の決定を見るはずである。

信用組合總代人

補欠選舉を執行

平信用組合三町目四町目區の總代人海老根茂吉氏辭任に伴ふ補欠選舉は、今二十七日午後一時から庶民金庫樓上に於いて理事關内正一、理事柏原幸次郎兩氏管理の下に執行當選者は判明しないが、三町目梅原利三郎氏當選の模様である。

第二十八回生徒募集

△第一學年 壹百名
△第二學年 若干名
△受験科生 若干名
出願期日 四月四日迄 新學期 四月四日
本校職員
校長 從五位勳五等
本 多 忠 網
平 塚 二 郎
佐 藤 熊 太
志 田 季 太
猪 狩 登 信 三
佐 藤 登 信 三
男 夫 雄 郎

本校の特色

1 入學金全免 2 學費の低廉 3 實業科目の特設
4 特待生の待遇 5 寄宿舎の設備

磐城青年學校

平町城山

徒弟數名至急入用

委細面談

平町二丁目(電話四一八番)

佐川洋服店

賣り物あり

醸造用醬油、味噌、仕込桶 六尺七本 四尺五本
附屬器具、掛船、火入釜其他小モノ一切
賣却に應じます、御貸も致します。
御希望の御方は至急御申込ありたし。
○場所平町内 (姓名在社)

平南町

平産婆看護婦學校

校長 清野キヨ子
電話三〇七番

△定員八十名
△申込成るべく早く
△新學期開始四月八日より
△卒業兩科通して一ヶ年

東京日々新聞連載 現在は續賣新聞連載
全勝大日活會社絶後の超大作
主演 大河内傳次郎。監督 伊藤 藤 太輔
天下無双 豪華巨篇
五月八日より
十五日より
八日間
毎日晝夜
二回開演
晝午前十時
夜午後六時
平 館



本週第一篇
全十三卷
小名濱 警城座
月正 十五日
月正 十六日
月正 十七日
月正 十八日
月正 十九日
月正 二十日
豊間 豊盛座
月正 二十日
月正 二十一日

タクシの御用命は

皆様の昭和へ!!!

「迅速、安全、親切」弊タクシのモットーであります
倍舊の御前負と御聲援願ひます。
平町 昭和田タクシ
電話 六三九三番

産科 婦人科

午前宅診
午後往診
平町字仲田町
井坂醫院
電話五五九番

萬洗張、湯のし、シミヌキ

篠原洗張店

平町田町大通

新車御披露

三十四年式テラツクスセタン入車致
しました、貸切の御用の節は是非御
試乗を御願致します
最新型セタン揃ひました。
電話六四〇番
尼子タクシ

磐城共濟病院案内

院長 醫學博士 石山謙郎
自宅電話二二四番

小兒科	醫學博士 石山謙郎
外科	醫學博士 佐久間謙
耳鼻喉科	醫學博士 佐久間謙
皮膚科	醫學博士 佐久間謙
産婦人科	醫學博士 佐久間謙
X光線科	醫學博士 佐久間謙
衛生試驗所	醫學博士 佐久間謙
藥局	醫學博士 佐久間謙

◎診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患者は此の限りに非ず
平町 磐城共濟會
電話六四一番

學校卒業賞品特賣

各學年卒業修期が近づきました。
各種賞品類も全部荷揃致しました。御仕入の絶好期。
卸賣特に御務め勉強致します。
贈品賞品類
進物贈答品
恩賜賞品
記念表彰品
各國産漆器

共榮漆器店

平町三丁目北裏通り
本年卒業 仕着 小使月二圓
同高小卒 仕着 小使月二圓
外交員十八九才より三十才迄